

予 算 要 求 資 料

令和4年度9月補正予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 感染症発生動向調査費（新型コロナ分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

健康福祉部感染症対策推進課
感染症対策第一係

電話番号：058-272-1111(内2543)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 3,623,671 千円（現計予算額： 1,914,511 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	1,914,511	957,255	0	0	0	0	0	0	957,256
補 正 要求額	3,623,671	1,811,836	0	0	0	0	0	0	1,811,835
決定額	3,623,671	1,811,836	0	0	0	0	0	0	1,811,835

2 要 求 内 容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（「感染症法」）に基づき、新型コロナウイルス感染症の発生状況を把握・分析し、これらの情報を公表することにより新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的とした調査事業であり、保健所の積極的疫学調査に基づき、濃厚接触者等に対する行政検査を保健環境研究所で実施する。令和4年1月～5月はオミクロン株の流行により、過去最大の感染拡大を認め、保健環境研究所では想定を上回る約25,000件/月の行政検査を実施した。今後も変異株の拡散等のリスク要因があり、令和3年度以上の検査需要が見込まれる。いまだ終息の目途が立たない状況の中、さらなる感染拡大に備え、検査体制及び保健所業務の体制強化が必要である。

（2）事業内容

新型コロナウイルス感染症の行政検査を実施するため、検査に必要となる検査試薬等を調達する。また、保健所の体制強化を図るため、感染症対応業務の一部を外部委託するほか、県内の看護系大学教員に対し業務応援依頼を行う。

高齢者施設等の従事者に対する予防的検査を引き続き実施するとともに頻回検査を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1 / 2 県 1 / 2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	758	検体搬送に係る自家用車燃料費
消耗品費	785,421	検査消耗品費、検体採取に係る消耗品費
燃料費	629	検体搬送に係る公用車燃料費
役員費	33,267	疫学調査通信料
委託料	2,801,980	予防的検査委託費、行政検査委託費、感染性廃棄物処分委託費、保健所業務委託費
備品購入費	915	新型コロナウイルス感染症患者情報データベースの整備費
使用料	701	検体搬送に係る高速道路使用料
合計	3,623,671	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県感染症予防計画
- ・岐阜県新型コロナウイルス感染症対策

(2) 国・他県の状況

- ・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（新型コロナウイルス感染症対策本部）
- ・新型コロナウイルス感染症の検査体制整備に関する指針（厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部）

(3) 後年度の財政負担

- ・感染動向や国の方針等に応じて、検査体制の整備や保健所業務の体制を図っていく必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく調査として、国立感染症研究所を中心として、全国の都道府県や保健所設置市等の地方衛生研究所で実施されている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

新型コロナウイルス感染拡大に備え、十分な検査体制を維持し、必要に応じて正確かつ速やかな検査を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができないため。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>令和2年度1年間で、新型コロナウイルス感染症に対する行政検査（PCR検査）を31,077件（外部検査機関へ委託した分を含む）実施した。</p> <p>岐阜県保健環境研究所（地方衛生研究所）に令和3年7月に全自動PCR検査装置を配備し、検査体制を強化した。</p>
令和 3 年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく調査であり、感染症の流行状況を把握し、まん延防止対策を行う上で、重要な調査である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 3	新型コロナウイルス感染症の検査を、地方衛生研究所が実施するため、柔軟に検査を実施することができ、迅速に結果を還元することが可能である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	検査の実施については、医療機関からの要請に基づき、弾力的かつ積極的にPCR検査を実施し、令和3年度に保健環境研究所に導入した全自動PCR検査装置により、検査体制の強化を図った。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の変異株による感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内の感染状況や国の対策など、刻一刻と変化する情勢を的確に分析し、必要な対策を柔軟かつ迅速に実施していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	